

学園用アンケートの結果について

1 回収率

令和5年度	令和4年度
71 % (56 / 79)	56 % (44 / 78)

2 全体的な傾向

- ・昨年に引き続き、回収率上昇に向けて各部署に回収袋の設置をお願いした。
回収率は56%→71%に上昇した。2年前の38%から大幅に上昇した。
- ・総計でC＋Dが40%以上の項目はなかったが、部署ごとに見ると、支援課で「個別の支援計画の作成と活用における学園との連携」「行事における学園への相談」の項目においてC＋Dが50%以上になっていたため、更なる連携に向けて取り組む必要がある。

3 課題のある項目（Zを除き、C＋Dが40%以上）

- ・なし

4 自由記述の特記事項

- ・学校と学園の連携について
 - ・児童生徒の情報交換について
 - ・各教員の児童生徒への対応について 等
- ※「先生による」という言葉が複数見られた。

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・回収率の向上に向けての取り組みを継続していく。
- ・アンケートに返答いただいた方にアンケート結果や分析を伝えていく必要がある。

教職員アンケートの結果について

1 回収率

令和5年度	令和4年度
100% (25/25)	100% (25/25)

2 全体的な傾向

- ・昨年度から10%以上肯定的評価が上がった項目
「学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。」(A+B: 84%→96%)
「学校は、学園スタッフとの連絡や情報提供を行っている。」(A+B: 80%→96%)
- ・昨年度から10%以上肯定的評価が下がった項目
「児童生徒の健康配慮や事故・体調の急変時の対応」(A+B: 100%→80%)
「校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を、全職員に明らかにしている。」
(A+B: 88%→76%)
「自己研修の機会」(A+Bが92%→80%)

3 課題のある項目（Zを除き、C+Dが40%以上）

- ・「この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている。」
(C+D: 32%→40%)
- ・「校務分掌や委員会の構成・業務内容・仕事量・人員配置は、適切である。」
(C+D: 32%→48%)
- ・「教育活動に必要な教職員が確保され、適切に配置している。」(C+D: 32%→56%)

4 自由記述の特記事項

- ・連携について
- ・教員配置について 等

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・提出については、手渡しでの提出を行うことで、全員提出ができています。今後も手渡しでの提出を行う。

保護者・児童・生徒アンケートの結果について

＜保護者アンケート結果＞

1 回収率

令和5年度	令和4年度
82%（14／17）	86%（12／14）

2 全体的な傾向

- ・肯定的評価が大半を占めている。
- ・Zの回答が昨年度より減少した。（Zの回答数が0人の項目：2項目→11項目）

3 課題のある項目（Zを除き、C＋Dが20%以上）

- ・「学校のホームページを見たことがある。」（「いいえ」が5/14）
- ・「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」（「いいえ」が3/14）

4 自由記述の特記事項

- ・教員に向けての言葉（肯定的な意見であった。）

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・面会日が限られているため、アンケート期間に余裕を持つ必要がある。行事前に配布することで、保護者が行事で来校する際に回収することはできた。
- ・今年度から、領域ごとに自由記述欄を設けたが、記述は少なかった。だがZの回答率は下がっているので、引き続き意見を言いやすいアンケートの在り方を検討していく。

＜児童生徒アンケート結果＞

1 回収率

令和5年度	令和4年度
100% (3/3)	100% (3/3)

2 全体的な傾向

- ・児童生徒3名の実施となった。
- ・ほぼ肯定的な評価であったが、2項目が課題項目となった。

3 課題のある項目（Zを除き、C＋Dが20%以上）

- ・「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」
(C＋D：0%→33%)
- ・「将来の進路や生き方について、考える機会がある。」(C＋D：0%→33%)

4 自由記述の特記事項

- ・教員に向けての言葉（肯定的な意見であった。）

5 アンケートの問題点と今後の課題

- ・なし